

痛みがすぐ引く「腱引き療法と触診術」講座

タイマッサージと組み合わせると最高の施術になります。

腱引き療法は、400年の歴史がある柳生心眼流に伝わる治療法で、島津兼治師範に受け継がれ、大槻一博が引き継いでいます。

当時、腱引き師は一箇所に留まらず、国内を転々としたといわれています。患者さんが腱引き療法ですぐに治ってしまうので、一箇所に留まっていたは利益が上がらず移動せざるを得なかったのがその理由です。

その手技をするには、骨格、筋肉、腱の位置を正確に知っていることが必要です。そのためまず、実際の体を使って触診術を学びます。そして、痛みの原因となっている所を正確に突きとめ、そこに関係する筋や腱を引いて、痛みや不快感を改善する施術法を全3回で学びます。



第1回目 (3月9日)

まず、骨格、筋肉、腱の位置を正確に触診できることが必要となるので、触診術に必要な骨格・筋肉・腱の正確な位置を学びます。部位としては、まず足首の関節の歪みを整えることから始めます。その理由は、足首は地面を踏みしめているため、他の部位を治療してもまた症状が戻ってしまうからです。実技は、骨格からはじまり、膝関節、股関節、骨盤の筋肉や腱に対しての腱引きを行います。

部位は、短指屈筋、短母指屈筋、母指外転筋、長腓骨筋、長母指屈筋、後脛骨筋、ヒラメ筋、腓腹筋、長母指伸筋、前脛骨筋、大内転筋、短内転筋、長内転筋、半腱様筋、半膜様筋、大腿二頭筋、大腿四頭筋、縫工筋、梨状筋、大腿筋膜張筋、中殿筋、大殿筋、腸腰筋が主な対象となります。

この回では、外反母趾、足首の捻挫、扁平足、足底腱膜炎、シンスプリント、膝関節痛、股関節痛に対しての手技を学びます。

第2回目 (5月11日):

体の支柱である背骨を支えている脊柱起立筋(最長筋、腸肋筋、多裂筋)を中心に、大小菱形筋、広背筋、僧帽筋、肩甲挙筋、大胸筋、小胸筋、腹直筋、内外複斜筋に対する腱引きを学びます。

背骨の歪みは、各内臓への負担となり、この部分を矯正することにより、各内臓を強化し胃や肝臓の調子を整えます。そして、腹部や背部への矯正には、施術者の丹田を強化する必要があるため、瞬間的に腹部に力を入れる丹田強化法、胸椎の矯正法と各部位に対する腱引きを練習していきます。

この回では、腰痛、肩こり、背部痛、ぎっくり腰、ぎっくり背中、猫背、内臓機能低下の対処法を学びます。

第3回目 (7月13日):

手・腕への神経は、頸椎から出ていて、この部分を弾くことにより、手や腕の痺れ・麻痺・手の握り辛さの改善を目指します。また、顎関節を矯正することにより顎関節症や小顔矯正の手技も学びます。部位は、胸鎖乳突筋、斜角筋、後頭下筋群、三角筋、上腕二頭筋、上腕三頭筋、腕橈骨筋、橈側・尺側手根屈筋群、総指屈筋、長掌筋、骨間筋、虫様筋、表情筋、咀嚼筋が主な対象となります。

この回では、顎関節症、手根管症候群、肘部管症候群、手の痺れ、麻痺、パソコン仕事の疲れ、テニス肘、ゴルフ肘、50肩、胸郭出口症候群、目の疲れ、顎のズレ、頭痛の対処法を学びます。

日時: 第1回目3月9日、第2回目5月11日、第3回目7月13日、午後1時~5時(全回)

講習費: 一回17,000円、3回分まとめると50,000円

実技・触診術講師: 大槻一博 場所: 日本タイマッサージ協会

参考テキスト: 筋と骨格の触診術の基本(株式会社 マイナビ)

服装: 動きやすい薄い布の服、5本指ソックスをご持参ください。

腱引き療法を習ったの感想(セラピスト)

『1番の変化は、筋肉の構造をリアルに感じることが出来るようになったことです。それまでも筋肉を意識して触っていましたが、よりリアルに感じるとることで正確に触れるようになりました。指で筋肉を感じる感覚を学べた事はとても大きな変化を私にもたらしてくれました。以前にメディカルタイマッサージを学び、技術を治療レベルに上げる勉強はさせて頂いたのですが、実際お一人お一人のお身体に効果のある施術として行うのはとても難しく、もどかしい思いがありました。その中で腱引き療法の筋肉(腱)にアプローチする技術を学んだお陰で施術の効果が格段に上がりました。以前よりもお客様の凝りやお疲れのお困り事を取り除くことが出来るようになり、お客様から頂く嬉しいお言葉にも繋がりました。自分のものとして施術していくにはまだまだ未熟ですし、これからも研鑽を続け、お客様からの信頼を築き続けていけるよう頑張りたいと思います。